

2024.01.24



あ・ら・か・る・と

今回、ご紹介するのは、『地域へ飛び出す、レイカ女子大生』の 奥谷有希 さんです。行政関係に勤務されて、60歳で定年退職、再雇用の終了後、63歳の10月にレイカディア大学に入学されました。



・サークル名「ブアナニ・フラ」



・「和太鼓」

今から25年前に旧五個荘町で、町おこしのために教育の一環として「和太鼓」を主婦層に広めようと活動が始まりました。私は20年間続けまして「夏祭り」「地域のイベント」に出演していました。今はその時習い始めた「三味線」を現在も楽しんでいます。昨年のクリスマスコンサートにも出演しました。地域の方との関わりを大切に、カラオケ、フラダンス、三味線サークルの仲間と繋がっています。

私がなぜ地域との関わりを重視しているかと言えば、現職時代に「地域に飛び出す公務員」がスローガンになっていました。

それは、災害が起こった時、市民の方々が何処に住居があって、寝室が何処で、頭をどちらの方にして寝ておられるのか、いざ支援する時に知っておいた方が良いであろうという理由です。

それには、普段から、サークル仲間で繋がり信頼関係を結ぶのが大事だと思ったからです。



・クリスマスコンサート

◆レイカディア大学に入学した動機は？

行政に勤務していたこともあり、レイカディア大学の存在は知っていました。現職中、「華道部」に在籍していて、その先生にお花の楽しみ方を教えていただきました。また、レイカディア大学のオープンキャンパスに参加した時、松原先生がプランターにナスを植える講座をされていました。それを見て、園芸学科にしようと決めました。



・彦根ビバ・シティで開催されました、
オープンキャンパスの様子 左端が松原先生

◆実際入学したレイカディア大学の感想は？

寄せ植え・ガーデニングのような、お花がしたいと思っていましたが、そういう講座をもう少し増やして欲しいです。

入学してから、花の講座が少ないから、近所に、「ブリコラージュ」訳すと、花束のような寄せ植え。ブリコラージュに興味を持ち習っています。この講座も、地域の老人クラブの活動に入れましたら、参加者が多く喜んでもらえました。



「ブリコラージュ」の作品



・地域の老人クラブ「寿会」の事業の一つ「ブリコラージュ講座」の皆さんです。

横のつながりは、学校。 縦のつながりは、仕事。
斜めのつながりは、レイカディア大学。

レイカディア大学では、仲間づくりが出来ました。

学生ですから、年齢、性別問わず、ほんとうに色々な経歴のある人と対等に話も出来て、その中で同じ興味を持っているお花の好きな人と、ずっと繋がっていけると思います。

◆卒業後の予定、希望は？

「趣味の園芸」を見ています。その講座の深町貴子先生が、ペットボトルや、牛乳パックを使用して野菜作りを教えておられます。野菜が簡単に作れます。簡単に作れて楽しそうです。やってみたいです。



・ペットボトルに植えたハウレンソウ

今、課題学習で「花のサークル らんまん」で種の撒き方から定植を学んでいます。種を撒き育てることに、ハマってしまいました。

次の課題は、パンジーの交配です。ぜひマイパンジー、マイビオラを作りたいと思っています。

(T.O)